

主婦1,000人に聞いた!「冬の肌トラブルに関する意識調査」

冬の三大乾燥部位は「かかと」「手」、そして意外にも「すね」!
～皮膚科医がおススメする対処法は、“部位別・症状別のケア”～
<http://www.ikedamohando.co.jp/release/>

「MUHI 株式会社池田模範堂」(代表取締役社長:池田嘉津弘)では、20代～60代の女性1000名を対象に、今冬の肌トラブルに関する意識調査を実施しました。

調査の結果、87.3%の女性が今年の冬に乾燥による肌トラブルを心配していると回答。特に若年層ほど乾燥を心配する割合が高くなっており、20～40代では90%以上が肌の乾燥を心配していると回答しました。

また、冬の乾燥による肌トラブルを心配している部位として、「かかと」「手(指含む)」そして、意外にも「すね」が上位三位に挙げられ、これらの部位が三大乾燥部位として意識されていることが判明しました。

< 調査結果の概要 >

- 今冬、乾燥による肌トラブルを心配している女性は87.3%、特に20～40代は9割以上
- 約3割の女性が、肌トラブルが年々ひどくなっていると感じている
- 今年の冬、女性が気にしている肌の三大乾燥部位は
「かかと」「手(指含む)」そして、「すね」

皮膚科専門医の銀座ケイスキンクリニック 院長 慶田朋子先生によれば、「今回の調査で三大乾燥部位として挙げた、「かかと」「手」「すね」は、身体の中でも特に乾燥しやすい部位と言えます。これらの部位は、乾燥するメカニズムに違いがありますので、部位別の症状に合わせたケアをおすすめします」とコメント。冬の乾燥肌に対処する方法として、「部位別・症状別ケア」を推奨されています。なお、今回の調査の中では「保湿クリームを使う」とする回答が大多数であり、「部位に応じた保湿」や「薬用のクリームをその症状に合わせて使用」との回答はごくわずかで、部位別・症状別のケアを意識している方はまだまだ少ないようです。

「MUHI 株式会社池田模範堂」では、近年顕著な売上伸長を見せている冬の肌トラブルに対応したOTC医薬品、ひび・あかぎれ治療薬『ヒビケア』『ヒビケアFT』と、乾燥などによるかゆみ肌治療薬『ムヒソフトGX』に加え、新製品すねなどの乾皮症・角化症の治療薬『リペアクト』を新たに展開。部位別・症状別に適した製品ラインナップを拡充。さらに、冬の乾燥による肌トラブルについて部位別・症状別に特徴やケア方法をまとめた「冬肌なやみ相談室 ～冬の肌トラブル。部位別・症状別ケアできれいになおそう。～」(<http://www.ikedamohando.co.jp/release/>)で情報発信もしています。本調査の詳細も、下記のホームページをご参照ください。<http://www.ikedamohando.co.jp/release/>

< 本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先 >

「冬にもMUHI」PR事務局(オズマピアール内) 担当:桃木・丸地・高橋 TEL.03-4531-0214

皮膚科専門医 「銀座ケイスキンクリニック」 慶田朋子院長コメント

“部位別・症状別ケア”のススメ



銀座ケイスキンクリニック 院長 医学博士 慶田朋子 先生

資格： 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
日本レーザー医学会認定レーザー専門医
所属学会： 日本皮膚科学会、日本レーザー医学会、日本美容皮膚科学会
日本抗加齢美容医療学会、日本抗加齢医学会
国際アンチエイジング学会 (ICAAM)、日本臨床皮膚科医会
ホームページ： <http://www.ks-skin.com>
公式ブログ： <http://www.dr-toko.com>

冬になると湿度が下がるため、皮膚は乾燥しやすくなります。調査の結果からも、多くの女性が乾燥肌で悩んでいることがよく分かりました。実際、クリニックに乾燥肌(乾皮症)で来院される患者さんは、20代後半以降の女性が多く、来院数は10月ごろから増え始め1月から2月にピークを迎えます。女性では25歳から男性ホルモンレベルが下がり皮脂分泌が減って冬期に下肢やかかるとに乾皮症を生じます。男性でも50歳を過ぎれば、男性ホルモンが低下し下半身を中心に皮脂分泌が減り、さらに高齢になると角層のアミノ酸量が低下して、老人性乾皮症を生じます。今回の調査で、**三大乾燥部位**として挙げた、「かかと」「手」「すね」は、身体の中でも特に乾燥しやすい部位と言えます。これらの部位は、乾燥するメカニズムに違いがありますので、**部位別の症状に合わせたケア**をおすすめします。

「かかと」は、皮脂の分泌がほとんど無く乾燥しやすい部位です。また、身体の全体重がかかるので、刺激から守るために**角質が厚くなります**。そのため皮膚が伸びにくく、乾燥すると割れてしまいやすいという特徴があります。治療には、厚い角層を溶かす**尿素を主成分とする薬**などを処方することもあります。また、**ビタミンA油**も皮膚の新陳代謝を高めるので有効です。

「手」は乾燥した外気に常にさらされ、日常の作業などで**刺激を受けやすく**、乾燥によるトラブル症状が現れやすい部位です。さらに、冬はお湯で手を洗うことが多くなるので、**皮脂が流れ落ちやすくなります**。濡れて乾いてを繰り返すうちに、角層のバリアが壊れ、物理的な刺激に弱くなり、かぶれも生じやすくなります。そのため、手の乾燥予防法は、使い捨ての手袋を使い、手洗いを減らすなど、**できる限り濡らさないように**することです。治療は、軽い乾燥程度なら市販のハンドクリームで対処できます。

「すね」は、そもそも**皮脂量が少なく**、乾皮症の好発部位です。カサカサと粉がふく「粉ふき肌」になったりすることがよくあります。予防のためには、お風呂でごしごし洗わないようにし、入浴後保湿クリームを塗りましょう。「粉ふき肌」になってしまった場合も、**ヘパリン類似物質**などを含むクリームを毎日塗れば改善します。**部位の症状に適した乾燥肌ケア**をして、**今年の冬を乗り越えて**いきましょう。

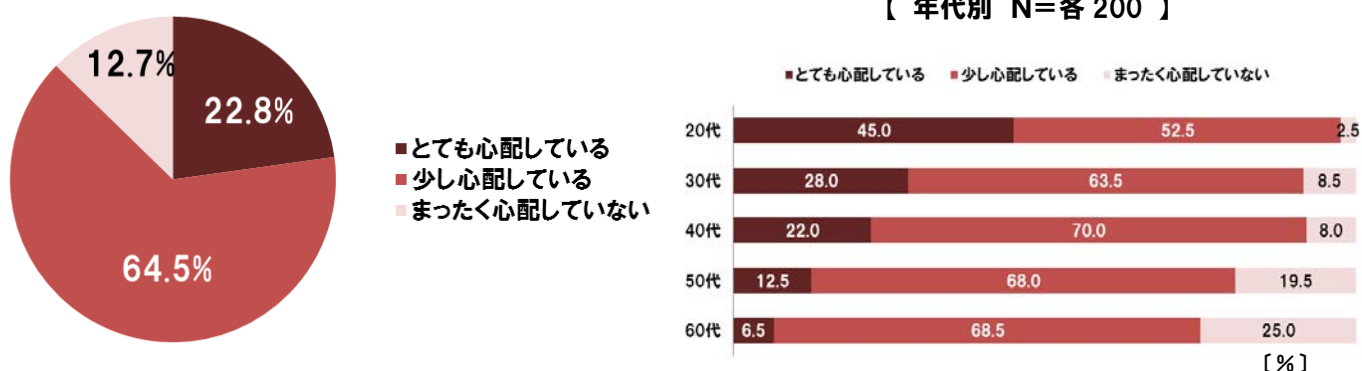
調 査 結 果

① 今冬、乾燥による肌トラブルを心配している女性は 87.3%、特に 20～40 代は 9 割以上

今年の冬の乾燥による肌トラブルについて、「とても心配している(22.8%)」「少し心配している(64.5%)」と回答、合計87.3%もの女性が『心配している』結果となりました。年代別では、20代は約半数の45.0%が「とても心配している」と回答。20代の97.5%、30代の91.5%、40代の92.0%が『心配している』と回答し、若年層の女性ほど乾燥による肌トラブルに対する意識が強いことが判明しました。

Q1 今年の冬、乾燥による肌トラブルを心配していますか。 (SA) N=1000

【年代別 N=各 200】

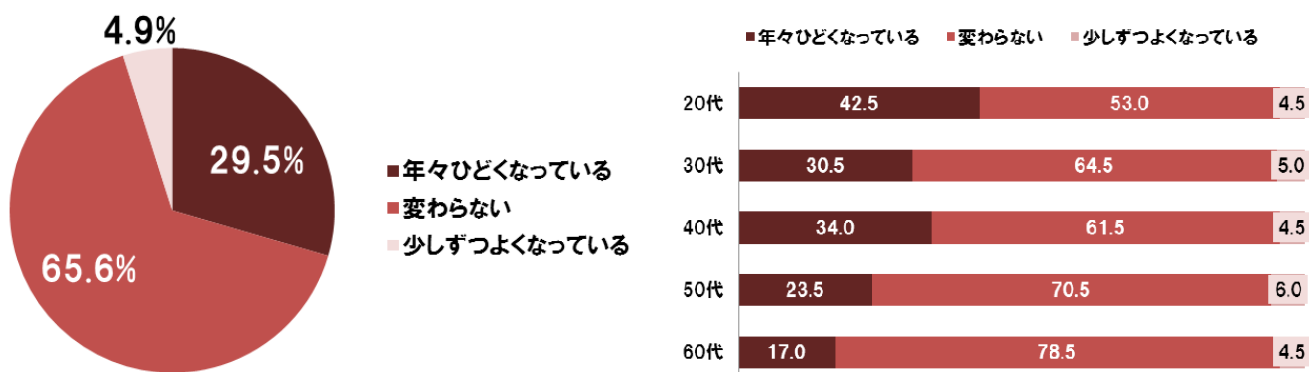


② 約 3 割の女性が肌トラブルが年々ひどくなっていると感じている

ここ数年での乾燥による肌トラブルについて、全体の約3割の女性が「年々ひどくなっている」と回答しました。特に、20代では約半数の42.5%が肌トラブルの悪化を感じていることが分かりました。

Q2 ここ数年間、乾燥による肌トラブルは年々ひどくなっていますか。それとも少しずつよくなっていますか。
(SA) N=1000

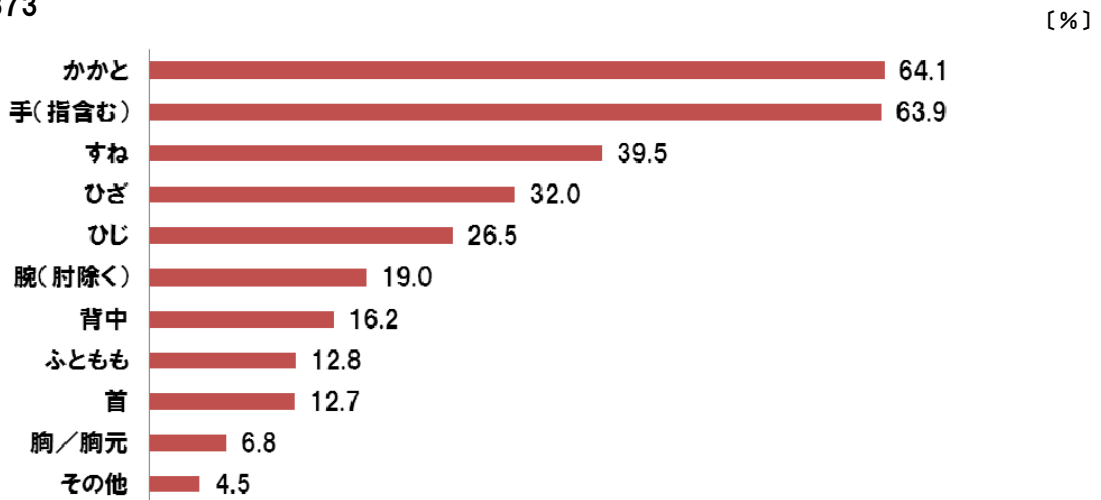
【年代別 N=各 200】



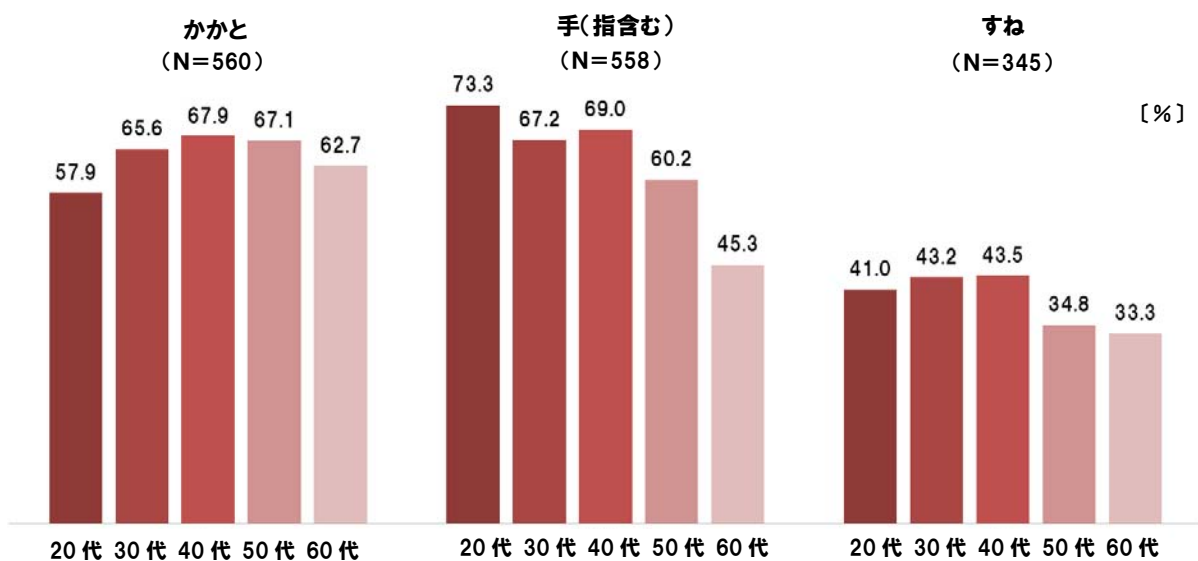
③ 今年の冬、女性が気にしている肌の三大乾燥部位は「かかと」「手(指含む)」「すね」

今年の冬に乾燥による肌トラブルを『心配している』と回答した女性に、心配している部位について聞いたところ、「かかと(64.1%)」「手(指含む)(63.9%)」「すね(39.5%)」が多く回答として挙げられ、三大乾燥部位として女性に強く意識されていることが判明しました。また、肌の三大乾燥部位について年代別にみると、「かかと」は30～50代に、「手(指含む)」「すね」は20～40代の若年層での回答が多く、年代により乾燥を感じる部位に違いがあることが分かりました。

Q3 今年の冬、乾燥による肌トラブルで心配している部位をすべておしえてください。 ※顔のトラブルは除く (MA) N=873



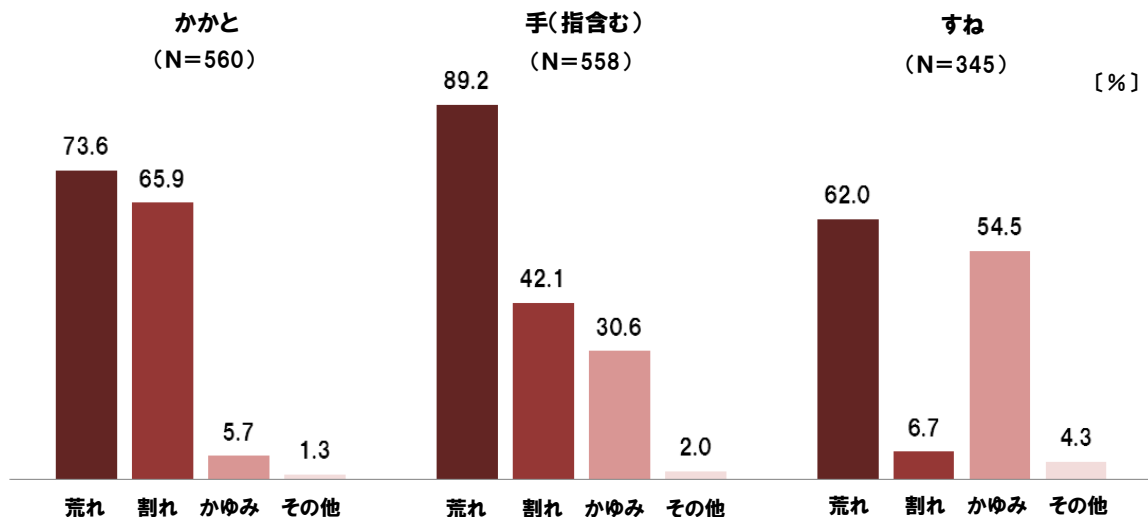
【 三大乾燥部位の年代別回答 】



④ 三大乾燥部位、部位別に気になる症状に違いあり

肌の三大乾燥部位で心配している症状について、かかととは「荒れ(73.6%)」「割れ(65.9%)」、手(指含む)は「荒れ(89.2%)」、すねは「荒れ(62.0%)」「かゆみ(54.5%)」の回答が多く、各部位ごとに異なる症状を気にしていることが浮き彫りになりました。

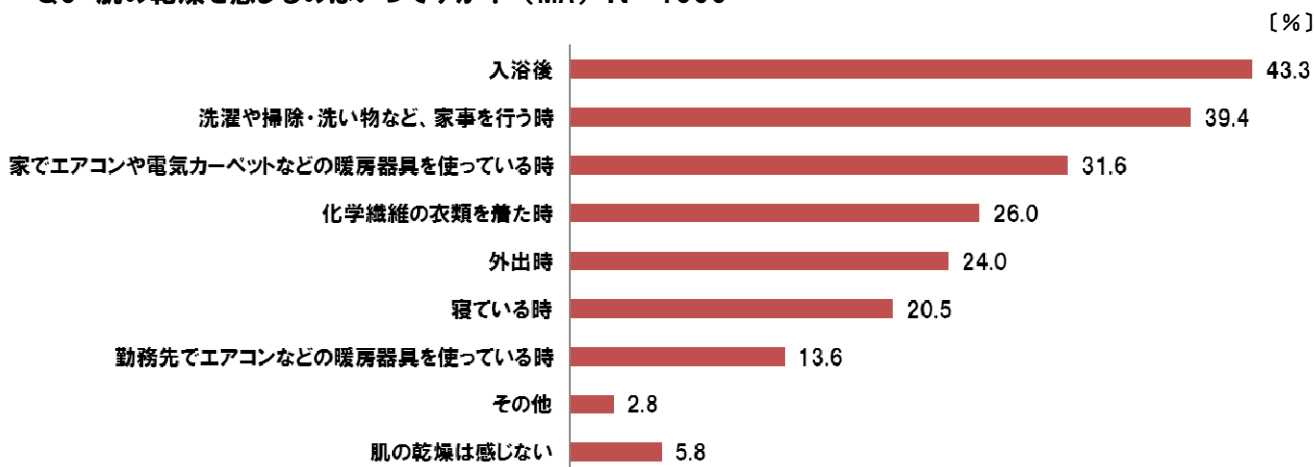
Q4 今年の冬、各部位で心配している乾燥による肌トラブルの症状をすべて教えてください。(MA)



⑤ 普段、最も肌の乾燥を感じる時は「入浴後(43.3%)」

肌の乾燥を感じる時について聞いたところ、「入浴後(43.3%)」が最も多く挙げられ、次いで「洗濯や掃除・洗い物など、家事を行う時(39.4%)」「家でエアコンや電気カーペットなどの暖房器具を使っている時(31.6%)」が続きました。

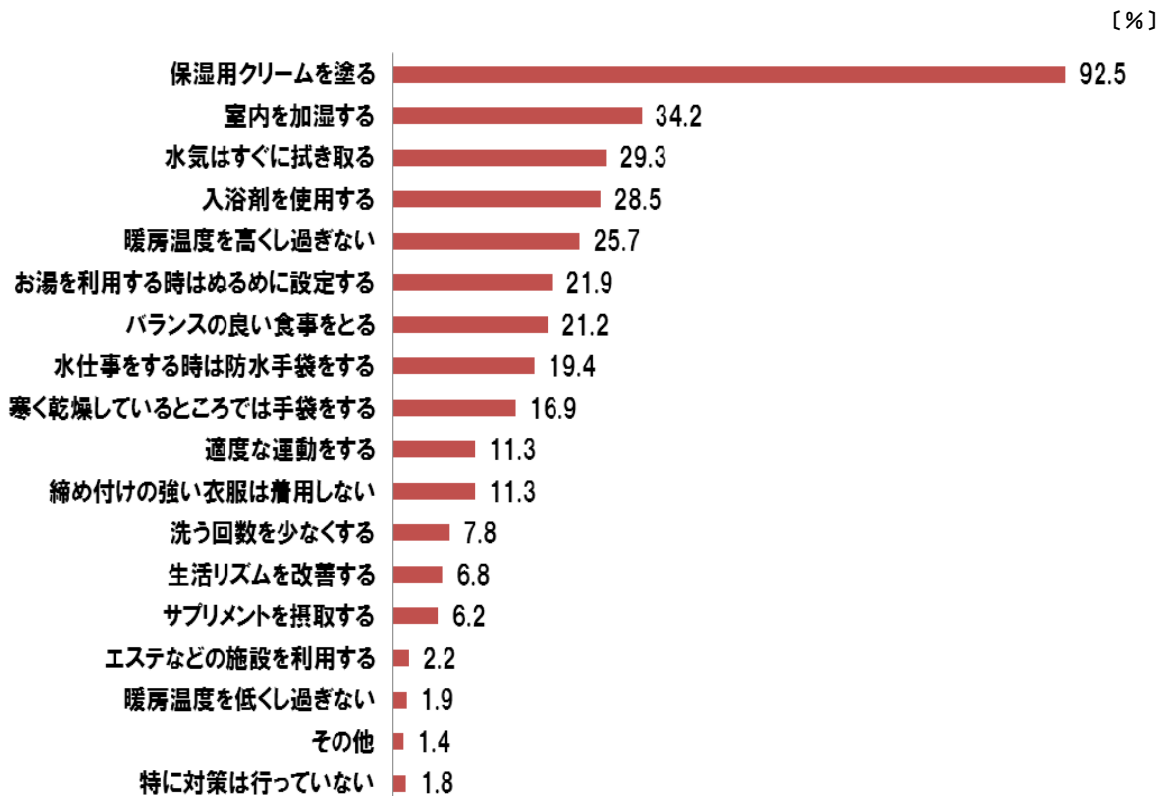
Q5 肌の乾燥を感じるのはいつですか？(MA) N=1000



⑥ 乾燥による肌トラブルのケア方法は、「保湿クリームを塗る」が92.5%でトップ

普段行っている肌の乾燥対策について聞いたところ、「保湿用クリームを塗る(92.5%)」とほとんどの女性が回答し、どんな部位・症状にも保湿用クリームを塗っていることが分かりました。部位別・症状別のケアを十分には意識していないようです。さらに、「室内を加湿する(34.2%)」「水気はすぐに拭き取る(29.3%)」が続きました。

Q6 肌の乾燥を防ぐために、普段行っていることをすべて教えてください。(MA) N=1000



< 調査概要 >

調査テーマ: 2012年冬の肌トラブルに関する意識調査
 調査会社: 楽天リサーチ株式会社
 調査対象: 20代~60代の女性(各年代200名)
 調査地域: 全国
 有効回答数: 1000人
 調査方法: インターネットによるアンケート調査
 調査期間: 2012年9月28日~29日